

Change is Possible!
Yoshinori Ikezumi

へん か か のう
変化は可能。

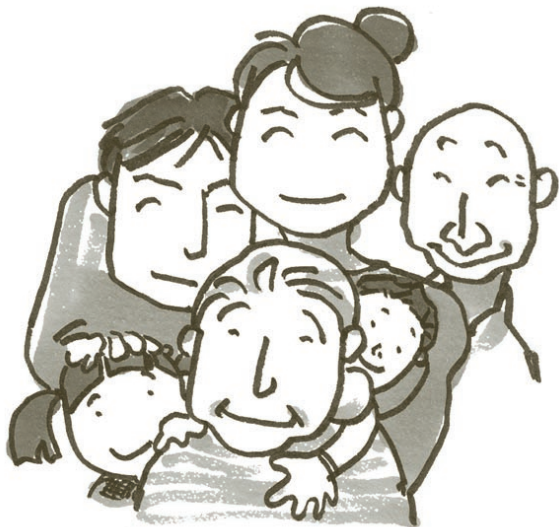


人を大切にした県政



「すべての人は豊かな経験、知識、技術、
アイデア、そしてパワーを持っている。」

1 お金の使い方を変えよう。



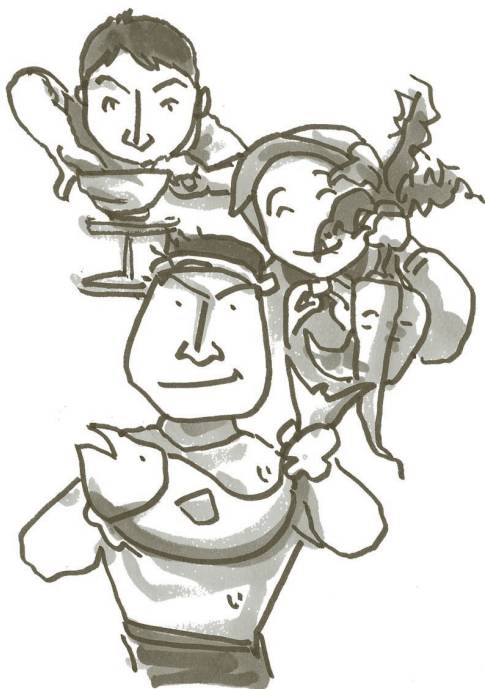
愛知県の財政運営の方法を根本から見直します。税金の使い方に優先順位をつけ、経済成長優先の大型公共事業中心から、県民一人ひとりの暮らし・健康・福祉・教育・環境を重視する人間重視・人間中心へと変えます。その内のひとつ「愛知万博」は中止します（詳しくは10ページ）。

2 県政の“しくみ”を変えよう。



県民不在・不透明な県政から、県民参加・ガラス張りの県政へ。その前提として徹底的に情報を公開し、県民の意見を具体的に県政に反映できる方法のひとつとして「住民投票制度」を設けます。
県政を動かすのは県民です！

3 地方自治を確立し 地域振興を進めよう。



地産地消、地場産業、地元商店街などを重視し、愛知県内88の市町村のいきいきとした「自治」と「循環型」地域経済を促進します。県は、それを可能にするためのファシリテーター（調整・促進役）の役割を担います。

88市町村、それぞれの特色が愛知県の魅力です。

環境都市『愛知』をめざそう。



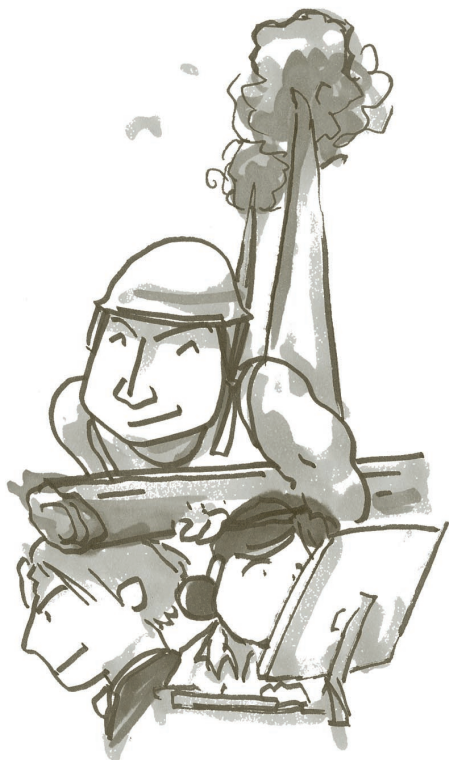
海で捕れる貝や魚、畑で取れる野菜や果物、当たり前のように吸っている空気、飲んでいる水。今これらの安全性が叫ばれています。危険な産廃処理施設や設楽ダム、徳山ダム計画などを見直します。長野につづいて愛知も「脱ダム」。知多半島の飲み水を木曽川水源に戻すことや、世界に約束した地球温暖化ガス削減を率先して行なう愛知県にします。



5 すべての人の人権を
大切に作る県に
しよう。

生まれた場所や生活環境、国籍や住所地の有無、またそれぞれの人が持つ志向や抱える病気によって、偏見・差別されることがあっては決していけません。愛知県に暮らす一人ひとりすべてが尊重され、大切にされる社会をつくります。
愛知県を「人権先進県」へ！

若者に愛知の未来を託し、
希望と夢のもてる愛知県に
変えよう。



失業の不安、就職できない悩みが増えています。このまま進んだら、失業率も10%を超えてしまうかも知れません。そうなる前に、ワークシェアリングを進めたり、安全な水を守る水源林で働く森林レンジャーなど、新しい雇用の機会を創り出します。

愛知県を平和の発信拠点にしよう。

戦争をおこすのは たしかに人間です
しかしそれ以上に

戦争を許さない努力のできるのも
私たち人間ではないでしょうか

第9条

一、日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
二。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

県民の生活をおびやかす地方自治をおびやかす「有事法制」には反対します。過去の歴史から学び、憲法第9条を盾として「戦争しない国づくり」へ向けて声を挙げます。戦争で平和は創れません。愛知県をそのような「平和」の発信拠点にします。

『今さら万博中止？ 何それ？』 という方へ

本当に万博の中止・返上はできるの？

中止・返上はできます。95年のウィーン万博、2004年のパリ映像博も「中止」という選択をしました。決断すれば「中止できる」のです。両方とも最大の中止理由は「財政難」。要するに実は「出来なかった」のです。いま愛知県は最悪の財政状態にあります。もはや愛知県に万博開催の「力はない」という考え方を持つべきです。

中止したら国際的な“信用”を失うのでは？

現在、先進工業国や新興工業国、発展途上国を問わず世界経済全体で物価下落が失業を作り、失業がさらに物価下落を招くという深刻なデフレ・スパイラルに落ち込んでいます。どこも「万博どころではない」状況にあるのです。今、「中止」すれば、各国政府に余計な出費を思い止まらせ、世界中の人々からむしろ「感謝」されることになります。

建設中の東部丘陵線や

名古屋・瀬戸道路はどうするの？

万博開幕に合わせて突貫工事で行われている公共事業です。万博を「中止」すれば、急いでやる理由はありません。地震対策、交通安全対策など必要な措置を講じたうえで、事業効果の有無など時間をかけて再検討すべきです。

中止で大型公共事業がなくなり 失業者が増えるのでは？

会場建設と関連工事は進んでいるのに、名古屋市内では職を失った路上生活者が激増。大型公共事業は地域・産業限定で一時的雇用しか生まず、失業解消にまったく「役立たない」のです。今求められているのは、一過性の巨大事業ではなく、むしろ中小規模の持続可能で多様な産業の創出です。大型事業を止めることこそ「県民益」となります。

せつがく「環境博」にしたいのに止めるのは後退では？

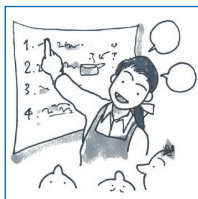
「万博問題」を契機に「海上の森」など自然環境に注目が集まり、NGO（非政府組織）などを通じて世界中の環境保全に関心を持つ市民との交流も活発になりました。万博を中止するという決断こそ、そうした環境意識が高まった愛知県から世界に発信する、環境の世紀のスタートにふさわしいメッセージとなるはずです。

今までたくさんのお金を使っているのに、 止めたらそれが無駄になるでは？

最悪の倒産パターンは過去の投資にこだわって、なんとかそれを取り戻そうとずんずん深みにはまっていき、最後はとんでもない損失額になるというものです。見込みのない事業はどこかできっぱり諦めるしかありません。いまがその最後のチャンスです。

■池住さんが大切にしてきたこと

今あなたは魚を煮ようとしています。先生は4つの方法で煮方を教えてくださいました……。



1 「まず魚を切って鍋に入れて酒大さじ3、砂糖大さじ4、醤油2、調味料を入れる順番は……」と言いました。



2

「ではいいですか？まず魚を鍋に入れます。そしてこの順番に調味料を入れます。分量は……」とやって見せてくれました。

1 から2は聞くだけ、見るだけの「受け身」。3は実際に動いているので、これでもう煮物は作ることができます。

でも、それだけでは「参加型」とは言えないんです。



参加型 4つの キーワード



主な著書

『学び・未来・NGO—NGOに携わるとは何か』（新評論/2001年/共著）

『いのち・開発・NGO—子どもの健康が地球社会を変える』（新評論/1998年/監訳）

『バナナから人権ヘーフィリピン ・バナナをめぐる市民運動』（同文館/1988年/共著）

など

煮物から参加型を考える

さて、みんながしっかり「参加」できて、「上達」していける方法は何番でしょうか？



3 「ではあなたが作ります。魚を入れて。ああ、こうじゃなくてこうね、じゃあ次は調味料。分量は…」と私たちが実際に煮ました。



4 「魚を煮るには何が必要？」
「いつも食べてるものは何が入っていると思う？」
「味はどのくらいだろう？」と先生は聞いてきました。

では3と4とはどう違うのでしょうか。自分なりに考えて作ること
で失敗したり新しい味を発見したりすることができます。何故そう
なったのかを考え、また発見したものは、なかなか忘れないはずで
す。新しいものが生まれる可能性のあるのが4です。

こういった自分たちで気づき、発見していくことのできる考え方や、やり方を「参加型」と言います。その意味と大切さを、30年の地域活動を通して実感し、実践してきました。



池住義憲（いけずみ よしのり）

- 1944年 東京に生まれる
- 1967年 立教大学卒業(経済学部経済学科)
- 1967年 財団法人東京キリスト教青年会(東京YMCA)勤務（～1980）
- 1975年 3月～6月世界YMCAベトナム難民救済復興協力事業にワールドサービスワーカーとして当時の南ベトナム・サイゴンに赴任
- 1982年 フィリピン国立大学大学院「地域開発」修士課程修了（～1984）
- 1980年 財団法人アジア保健研修財団(AHI)勤務（～1997年）
- 1997年 国際民衆保健協議会(I PHC)日本連絡事務所代表

変化は可能。

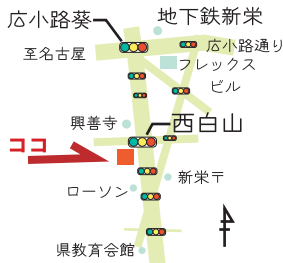
『時代の贈り物:核兵器廃絶を今こそ』
(1997年)という本を書いた米国人作家ジョナサン・シェルは、核兵器廃絶を米国史上の奴隷制度廃止になぞらえて、現在では奴隷制度を擁護する人がいないように、核兵器についても必ず廃絶できると断言しています。約一世紀前まではほとんどの人々が奴隷制度を道徳的に問題ないと受け入れていました。更にいったん根づいた制度を廃絶するのは不可能だと信じていました。しかし、現実には人々は奴隷制度を容認できなとしただけでなく、それを廃止しました。

「変化は可能」です。
私は、県政を変えることは可能だと信じます。



待ってます！

あなたの声が聞きたい。



みんなで愛知を変えよう会

〒460-0007

愛知県名古屋市中区新栄1-17-7

現代ハウス新栄2F

TEL : 052-262-1097 FAX : 052-262-1098

e-mail : office@ikezumi.org

URL : <http://www.ikezumi.org/index.html>

—内部資料—



変化は **可能。**